

藤原直哉の『共感・勇気・自然』の世界

— すべては最初から見えていたらしい —

1、1993年に発刊した藤原直哉の『共感・勇気・自然』

- ・33歳の時。これが独立の原点で、今でもこの世界にいる気がする
- ・当時の世の中の風潮は、その正反対だった
- ・この先に成功するために最も必要なことは、御用達経済と水滸伝

2、いままで何種類の職場を経験してきたか？その特徴と何を学んだか

- ・大手メーカー、役所、大学の教員、日本の零細企業、非営利組織

3、どのように時事問題を把握して、予想して、行動してきたか

- ・それまでの実力と勉強の範囲を超えたところからが本当の仕事
- ・安定的に未来の世の中と接するためには、確固とした信仰が必要

4、運勢や運命と自分の進路との関係

- ・頭と心と腹の違いと使い場所をわきまえておけば何とでもなる
- ・あの世にもう一人の自分が見えるところまで精進してみる

5、何をいま一番伝えたいか

- ・事前に心配しすぎずに、走りながら考えて修正していけばいい